

13日 行動隊結成政治集会へ

見つけた。校友諸君、これが大學の自治といつやつだ。10月10日に混亂が起つたといけない」からだと、9日早朝行動隊員へを行つた大學当局は、そのときはつづりと支配者、警察当局の言葉を、自から口をもちいて語つたのである。支配者の意志を自らの行進をもつて引きついだのである。自からの手を引く學生の血で汚しておども権力支配への従僕の道を選んだのである。

一度汚した手は、すでに連續的に次の犯罪を用意していた。8日教職員集会の官憲に守られてのアッサ上り。(二名逮捕)そして本日、改札口のどこ通行前を強襲し、更に授業再開阻止行動に決起した学生に対し、行動隊を要請し、2名の学生が権力の手に表つて度して行つたのである。「大學の自治」を守るといつ名目のむとに。

更に当届は18日の一年生授業再開を準備し、以降連続的に2年、3年の授業再開を予定している。周知のように10月早朝用田からアメリカに向う佐藤に付し、それの阻止行動が16日から蒲田駅前に於いて、學生のけむらす多くの反戦労働者と共に展開

される。だからこの斗争は、これまでのうれなすことにはなっていないのである。

かかる斗争よりも激烈に打われるであろうし、またそつであるからこそ大量の空襲の逮捕者を出すのである。我々明大生共斗もその例外ではなく、すでに他の斗争委員会において、この安原決戦をまさに決戦として向えるべき準備を進めている。当時は余つにち哉知らずに、斗つ學生が権力の下におけるこの犯罪を撲滅するために立ちあがり、権力の暴力に傷ついたどぎーその血のいけにえの上に、自からの秩序回復と、支配の強化を夢見こしるのだ。

校友諸君、我々はいき次の「二」をもう一度確認して置いたらう。「大學の自治」とは、権力に支持され、権力に訴ぐられる範囲内の何日のでもひい」とを。そして「大學の自治」を誰れよりも多く語る大學当局は、実は、権力者から、その暴力装置!!機動隊等の自由使用の権限を委ねられてゐることを。彼等かどづきの政治的ボーダーを

取つとも、その原則に一切乗りつかずではないのである。そして僕達の斗争は、二の大學生との和解が、妥協が決してあ

れる。校友諸君、我々はいま授業を受けなつてゐる。だからこの斗争は、これまでのうれなすことにはなっていないのである。

校友諸君、我々はいま授業を受けなつてゐる。またそつであるからこそ大量の空襲のとすると校友達に対する恨みをいわしながら、たたかうことだけは忘れずにいる。

我々はいま授業を受けなつてゐる。たたかうことだけは忘れないでほしいのだ。

僕達の「二」の方向と、権力の「正常化」への方角が決して和解するものでは得ぬ。僕等の斗争は、僕らの「より普遍的」にして、僕等の斗争は、僕らの「より普遍的」には、甘レタアヤナ権力の形成と行使を意識的に追求するであろう。そして大學当局は、「正常化」の為にヌルジヨア権力の防衛と行使を意識的に追求するだろう。その中で君達の選択する行為が、同時に、すでに今甘に於いては「史の選択につながつてしまふのだ」ということを想はなければほしくない。

僕等は16日と17日、金子を賄けて羽田で斗争だらう。頗るくは駒場での再開を。共に武闘をたゞとし、共に斗かわんことをめぐらす多くの反戦労働者と共に展開

ブル

12日

明大教授会結成大会
主催者
出席者
司会者
司会者

(3)

明大金井町。室二郎安田
明大金井町。室二郎安田